

## 山行報告書

山行管理部

### 自然保護部 そば打ち体験と試食会 11月19日(土)

担当 石野(博)、松本(正)、明賀(典)、杉谷、 参加 11名+1名(お試し)  
二年ぶりのそば打ち

岩見さんの指導のもと、そばのばしやそば切りを体験させていただき、かき揚げを作る人、アマゴ、あゆの塩焼きをする人、ひれ酒を楽しむ人、食べる担当者とワイワイ、ガヤガヤ。やっぱりプロのそば打ちにはかないません。どれもこれも美味、食後のデザートもありで、楽しい一日でした。

小村さん、お試し一名さん、参加ありがとうございました。

(杉谷 記)

### ウイークデイ 甘南備山 11月24日 CL 島田 SL 阪上 参加 10名

J R松井山手駅9時30分集合出発→10:00 虚空蔵堂→10:20 野外活動センター→11:40 甘南備神社 山頂→12:00 展望台 昼食 12:50 出発→もみじの森→13:30 登山口→14:10 一休寺→14:45 J R京田辺駅解散

松井山手駅から住宅街を抜け、虚空蔵堂にお参りしたあと林の中の道を歩き、野外活動センターを横に見て山道に入る。緩やかな坂道をゆっくりと登って神南備神社に到着。221mの頂上はすぐ横。展望台で昼食をとる。甘南備山は低山ながら見晴らしは良い。午後紅葉の森に行くが紅葉は今一つ。帰途一休寺に寄り境内の見事な紅葉を眺める。J R京田辺駅に14時45分に着いて解散する。

(阪上 記)

### 公開山行 勝尾寺南山 11月27日

CL 安田、SL 森野・松本(光) 参加 20名

阪急箕面駅9:10 → 地獄谷10:10 → こもれび展望台11:00  
→ 政の茶屋11:25 (昼食) 11:55 → 勝尾寺南山13:05→  
地獄谷口14:40 → 瀧安寺15:00解散

盛りは少し過ぎていたものの、まだ、紅葉は美しく、そして何より、天候に恵まれ、気持ちの良い山行であった。あちこちで、鮮やかな紅葉に、「あ〜、綺麗だね」と、思わず声が出た。箕面の山は自然探求路も整備されていて、歩きやすかった。何か所か、車道を通り、横断したが、紅葉シーズンの休日で、車の量も多く注意が必要だったこと、また、瀧安寺付近から、地獄谷付近までは、一般の観光客も多く、通行に気を遣わねばならなかった。当初予定されていた行先を変更し、コースのA

ドライブをいただいたり、2度の下見に、担当以外の方もご同行いただきました。  
また、当日も、皆さんに色々助けていただきました。ありがとうございました  
(安田 記)

### サロン パークゴルフ・飯盛山 12月3日(晴)

CL 宇野 SL 佐内 参加 15名

鶴見緑地でのパークゴルフ参加者8名で2班に分かれて18ホールを楽しんだとの報告を受ける。飯盛山は5名が参加し紅葉の中ノンビリと山行を楽しみました。その後、京橋駅で合流、他に2名が加わって納めの反省会を行いました。皆さん楽しそうで良い一日でした。  
(宇野 記)

### ウィークデイ 再度山 12月7日 C.L 木村(佐) 参加 12名

JR新神戸駅(公園)9:40 — 城山(東屋)10:30 — 二本松バス停 11:05 —  
大龍寺 11:30 — 再度山 12:10 (昼食)12:35 — 再度公園 12:50 — 市ヶ原  
13:50 — みはらし台 14:35(解散)

六甲山系の中で再度山はどこにあるのだろうと想着いたら日本百低山で紹介され、是非行ってみたいと計画しました。古い地図にはコースが書いてなく、今の地図は破線。でも、テレビで紹介されてから登山者が増えたのか、道ははっきりしていました。時期も12月で紅葉の時、まだ残っていて落ち葉を踏みしめながら残り紅葉に癒されました。  
(木村佐知子 記)

### 教育部 アイゼンワーク

【山行日】 2022年 12月 10日(土)

【場所】 六甲 芦屋 地獄谷 万物相

【参加者】 3名 CL 高桑、SL 木村順、岡山(K505)

#### 【コース記録】

JR 芦屋川駅前 08:30 — 高座の滝 09:00 — 地獄谷遡上  
— 万物相 10:30 — 風吹岩 13:00 — 高座の滝 15:00  
— 芦屋川駅 15:30

- ・会費の納め方、労山保険、会の各山行部会の特徴などを説明しながら、歩く
- ・地獄谷の遡上途中で安全装備を装着して3点確保や足の置き場などを講習
- ・砂地(万物相)ではアイゼン不装着で歩き方の基本練習
- ・12本アイゼンを装着して歩行練習、アイゼンの効き具合を確認する

## 【感想】

コロナ禍の重症化が少なくなっても、感染者数が増え、第8波といわれる環境下のためか、スタッフを含めて3名とちょっと寂しい講習だった。

しかし、会についての分からないところや、山の魅力などに十分に意見交換できて、それはそれで中身の濃い講習であったと思う。

参加者の感想では、アイゼン未装着での歩き方で下りの時の歩き方がとても勉強になった。又、沢登りをしてみたいとのポジティブな感想が聞けた。

(高桑 記)

## 土曜山行 大原三山 2022年12月10日 晴れ

C L湯浅、S L楠本、島袋 参加12名

活動データ タイム 5:25 距離8.6km 高低差 +885m

戸寺バス停9:20→江文神社9:45(トイレ休憩)→岩場の展望台10:25→

金毘羅山11:00→翠黛山(昼食)11:40-12:10→コルの十字路12:40

→焼杉山13:25→大原バス停14:45(解散)

下見の時は平日で殆どハイカーは居ませんでした、実施日は土曜日ということで、数組のハイカーやソロハイカーと出会い、トイレ休憩の江文神社では、名古屋から来たロッククライマー20名ほどが装備の準備をしていました。



コースのハイライトは、京都国体でクライミングゲレンデとなった岩場です。金毘羅山コースを少し外れて ややこしい道を下ると、大原の里が一望できる岩場のトップに着きます。すぐそこにロッククライマー達が居ます。金毘羅山、翠黛山を経て焼杉山までのコースは初冬の落ち葉道。12月上旬にしては温かく爽やかな山行でした。参加者12名で、寄り道をして休憩時間を入れてもコースタイム×0.9で走破しました。きたろうメンバーの脚の強さには、いつも驚きます。

(湯浅 記)

## ターブルドート 音羽山 12月18日(日)

CL 松本光一 サポート：飯塚、楠本 参加13名

大谷駅10:10→音羽山11:27→牛尾観音12:40→経岩13:00

→追分駅13:48 着解散

12月になり寒波の到来で積雪を予想してたが、積雪はなく気温が低いと風が強い日でした。山頂付近などには霜がおり少し凍ってる状態で音羽山山頂では登山者はおらず貸し切り状態、山頂からは比良山系が雪化粧になっており冬

を実感。音羽山からの下りは登山道が少し凍ってる感じなので注意喚起しながら下山し、牛尾観音からの舗装路では藻が生えている為滑りやすく注意が必要。案内のコースタイムより2時間早く追分駅に下山。

(松本光一 記)